

CMX創発医学講演会

2024年 10月29日 火 共同会議室 [研究棟B 2階]

※ハイブリッド開催



<https://us06web.zoom.us/j/82652534733?pwd=RqwlwaG9e31jSesIcqLVFbC4WcYZPg.1>

ミーティング ID: 826 5253 4733

パスコード: 020150

17:00-18:00

がん微小環境が制御する 腫瘍血管のダイナミクス



木戸屋 浩康 先生 福井大学 学術研究院 医学系部門
血管統御学 教授

要旨: 血管の形成過程では、血管リモデリングと呼ばれるダイナミックな構造変化が起こること
で組織に応じた血管ネットワークが完成する。我々は、既定の概念には当てはまらない新規の
血管リモデリング機構として、血管が管腔構造を保ったまま組織内を移動する「血管束移動」を
発見した。シングルセル遺伝子発現解析および生体イメージング解析から、血管束移動が未知
のミエロイド系細胞群によって制御されることが示された。さらに、腫瘍組織における血管束移
動は血管新生阻害療法への治療抵抗性に関与することが明らかになりつつある。本講演では、
腫瘍血管をモデルとして、多細胞間の相互作用によって生体内で進行する血管ネットワーク形
成のダイナミズムを解説する。

18:00-19:00

ミトコンドリアと疾患・老化



—ミトコンドリアを標的にした抗加齢創薬の開発と展望

柳 茂 先生 学習院大学 理学部 生命科学科
分子生化学 教授

要旨: ミトコンドリアの機能異常は、様々な加齢性疾患の病態に関連している。近年、ミトコンド
リアの機能維持には小胞体との連携が重要であることがわかってきた。とくにMAMとよばれる両
オルガネラ間の接触場は、ミトコンドリアの機能を調節する足場となっており、その破綻と疾患
との関連が注目されている。私たちはミトコンドリアユビキチンリガーゼMITOLの同定を契機に、
MITOLがMAMを調節していること、MITOLの異常が加齢性疾患を引き起こすことなどを明らか
にしてきた。本講演では、MITOLの役割とその異常と老化疾患との関連を概説すると共に、最
近明らかとなったMAMの新たな役割を紹介する。さらに、MITOLとMAMを標的とした創薬スク
リーニングシステムの開発とその研究成果の一端を紹介したい。

※先端医学トピックス（大学院講義）を兼ねております

【コーディネーター】 細胞生理学分野 教授 南 康博

【主 催】 メディカルトランスフォーメーション研究センター（CMX）

【連 絡 先】 研究支援課研究企画係 内線: 5189

Mail: k9shien@med.kobe-u.ac.jp